



通所支援事業の ひとコマ

「秋」といえば皆さんは何を思い浮かべますか?「食欲の秋」「芸術の秋」などいろいろありますが、実は秋は台風など自然災害の多い時期なので、「防災の秋」と言ってもいいと思います。今年

は関東大震災からちょうど100年、大正12年9月1日南関東を中心に発生した地震では火災も発生し、死者・行方不明者は推定10万5千人とされています。

災害対応で大切なことは「備え」です。そこで通所支援でも防災訓練を行っています。実際にベッドから車いすに移乗して屋外に出るまでを訓練したり、地震や火災が発生したときどのような行動を取ったらいいか(何を持ち出すか、はぐれた時の本人確認をどうす

るか、家族が迎えに来られなかったときにどうするか等)を話し合ったりしています。



災害発生時に通所の利用者さんなど在宅の医療的ケア児者が真っ先に困ることは停電です。生活に必要な医療機器の電源数や消費電力は把握されているでしょうか。外部バッテリーは用意してありますか。バッテリー持続時間はご存知でしょうか。停電が長時間になりそうな場合に、どこにどう相談して電源確保すればよいか等も、災害が起きる前に考えておけるといいと思います。「備え」をチェックするには、三重県小児科医会が作成した「災害時対応ノート」などが活用できます。通所支援にもご用意していますので、ぜひ手に取ってみてくださいね。(療育指導室長 村松 順子)

2 病棟

子どもたちの生活のひとコマ

全国的に気温の高い日が続いています。本格的に秋を感じるのはいつ頃になるのでしょうか…。

さて2病棟では、9月13日(水)に季節行事「子ども縁日」を開催しました。入院生活中であっても少しでもお祭りの雰囲気味わえるように、感染対策をとりながら、ポイ大会、映えスポットでの写真撮影、クイズコーナー等いくつかのブースを設けて、みんなでお祭り気分を味わいました。子どもたちには店員役とお客さん役を順番にやらせようことにし、店員さんのときは法被を着てもらいました。みんな法被を着るのが嬉しいようで、「ずっと着たい!」「早く着たい」等の声がありました。いつもとは違った表情がみられ、子どもたちにとって良い体験になったと思います。

季節の変わり目を肌で感じるのも時間の問題かもしれませんが。体調管理に気をつけながら、この残暑厳しい10月も乗り越えていきましょう。

(児童指導員 平田 真理子)



5病棟の生活のひとコマ 83

長かった夏が終わりを告げ、ようやく過ごしやすい気候になってきましたね。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもありますので、体調管理を今一度しっかりと行い、秋を楽しんでいきましょう。



さて今回は、秋のスヌーズレンルームをご紹介します。9・10月のテーマは「ハロウィン」です。オレンジ色のミラーボールで照らされたカボチャやおバケの飾りがハロウィンの独特な世界観を演出しており、お部屋の中へ入った患者さんは皆さんキョロキョロと周りを見て落ち着かない様子でした。りんごの甘い香りや少し怖いBGMもハロウィンっぽさをより引き立てており、病棟内とは思えないくらい別世界な空間となっています。お時間のある方は是非5病棟自慢のスヌーズレンルームを覗いてみてくださいね。また、5病棟では10月末にハロウィンの行事を実施予定です。今年も患者さんに目一杯楽しんでいただけるよう計画を練っています。これからも患者さんに季節を感じていただけるような楽しい療育活動を行っていきたくです。

(児童指導員 森 日奈子)

